

安全・安心まちづくり

『江戸の大地震対策』 その四

講談師 一龍斎貞花

LEDの発明で三人がノーベル賞、余り身近でなかったノーベル賞が各家庭にもLED、LED誘導でイカ・サンマ漁に威力、信号機も一年で交換していたのが三年間に一度と効果大。二週連続猛威をふるった台風。台風を鎮めたり、方向を変える発明は出来ませんか。

1891年（明治24年）日本史上

最大の内地殻内地震、濃尾地震（岐阜・愛知）。マグニチュード8、震度7、死者7,273名、負傷者17,175名、震度階級「激烈」。数日前から「動物の異常行動」、数時間前から「鳴動音」「地鳴り」が

あり、前々日、前日に前震があり、山崩れ1万カ所、道路損壊2万余、堤防損壊7千余。仙台以南の全国で有感、建物全壊14万戸余。私の祖母家族は根つ子の張った竹藪で三日過ぎたそう。92年1月、9月。94年1月余震でも家屋被害。急ごしらえの我が家、築60年ほどで傾きかけた。今も強固な建物が建てられればいいのですが。

明治27年6月と10月、東京に二度

の大地震。堅固な建造物と思われる建物が全半壊あわせて煉瓦造272、石造55、土蔵3、054、木造1,587、煙突678。煉瓦

造の建造物の人的被害が多く、この地震は、耐震の近代的建築構造を検討する契機となった。しかし、大正12年9月1日午前11時58分44秒、M9という関東大震災、全壊、焼失、流失家屋58万戸。ほとんどが昼食の支度で火を使っていたため、東京市の死者9万1千余人のうち、焼死者83%強の約7万6千人。

後藤新平東京市長（現知事）は、

復興計画を立案、火災を防ぐために庭園・公園を造り、靖国通りを拡幅、昭和通り新設。日比谷公園、清澄庭園、芝公園が延焼を食い止め、必ずイチョウなど防火性の高い樹木があ

ったのです。後藤新平は横浜にも公園造りを進言し、瓦礫を埋め立てて造った山下公園が海浜公園第一号。台湾民政局長官時代にも造った道路は、今も台北の幹線道路。後藤の大風呂敷といわれたが、後藤の計画は今もって完遂されていない。東京の災害避難場所は、遠い、狭い、緑不足。低い土地の小学校が避難場所になっている所がある。津波がくればひとたまりもない場所。津波どころか、排水溝は一時50ミリ想定なので、70ミリの雨量で少し低い所は水が溜まり車は動けなくなる。そんな状態が諸所に見受けられている。

前述の如く災害死亡原因の1位は焼死。木造住宅密集地帯の耐震、建替えが叫ばれているが、高齢居住者の多い地域が多く、この歳になつてと建替えは進まない。火災は家庭の炊事中ガス器具からが多かったが、現在は自動的に遮断されるマイコンメーターの普及によって、出火の主な原因は漏電など電気器具関係になり、中央防災会議の報告によると、火災による犠牲者想定1万6千人のうち、電気関係が防げれば9千人に減らすことが出来るという。

“電気器具による出火防止の推進”

火災報知機は新築住宅には設置されているが、感震ブレーカーや漏電ブレーカーの設置が効果的といわれます。皆さん方はご本職、とつくに解つてるよ、やつてるよと言われるかもしれないが、ガスのマイコンメーターほどアピールされていないように思います。本誌でも目にしたことはあるが、大々的ではないのでしょうか。素人ご免なさい。

電気関係の出火がセーブされ、初期消火がなされると、犠牲者は8百人にまで減らすことが出来るそうです。すごい効果でしょ。

手前みそで恐縮ですが、安全講演ではこうしたこともお話ししています。もつとも最近では電気メーカ、工事関係からのご依頼が少いのが残念です。素人が専門的な話をしおつてと思われることもありましょう。観光、まちおこし講演では、税制面からと、大事なことは「観光、まちおこしはよそ者の目で」、これを強調しています。よそ者の目で見る素晴らしいものがあるのに、当り前にしてやらないか、地元を知らない。そうしたことが往々にあるんです。当り前を当り前に、一時テーマでしたよね。商売！商売！

昭和19年12月10日、愛知三河中心の東海地方の地震、津波は死者988人、全壊26、130戸という、大地震だったが、戦況の暗転から一層不安を与えてはいけなさと伏

せられてしまったので、国民の大半が知らなかった。

素早い情報を、真実の報道をといわれているが、なんでも報せれば良いというものでもなかるうが、原発など隠されていることがあるのではないのでしょうか。

神戸地震、東日本大震災、大島、広島、崖崩れ、御嶽山噴火と、なんじやらほいなんていつておられませぬ。災害は忘れぬうちにやつてきているんです。



山下公園（横浜市）